

平成 23 年度（2011 年度）業績

1. 研究発表

No.	発表者	演題名	発表学会等	年月
1	中山敏文 ○富永 慧 浦田貴子 石橋哲也	イチゴ‘さがほのか’の高設栽培における培地組成の違いが先絞り果(仮称)の発生と果実内無機成分に及ぼす影響	平成 23 年度園芸学会 九州支部研究発表会	2011 年 8 月
2	○石橋哲也 浦田貴子 中山敏文 浦田貴子 富永 慧	木質ペレット温風暖房機の効率的利用技術の確立(第3報)木質ペレット投入量の違いが排ガス温度と性状に及ぼす影響	平成 23 年度園芸学会 九州支部研究発表会	2011 年 8 月
3	○富永 慧 中山敏文 石橋哲也 檜崎耕輔	促成イチゴ‘さがほのか’における局所温度制御が生育と収量に及ぼす影響	園芸学会平成 23 年度 秋季大会	2011 年 9 月
4	○石橋哲也 中山敏文 富永 慧 檜崎耕輔	促成イチゴ‘さがほのか’における局所温度制御による生育促進と暖房費削減効果	園芸学会平成 23 年度 秋季大会	2011 年 9 月
5	中山敏文 ○富永 慧 石橋哲也 浦田貴子 檜崎耕輔	7月播きセルトレイ苗を用いた冬どりタマネギの栽培技術(第1報)育苗時の短日処理による結球休眠抑制	園芸学会平成 24 年度 春季大会	2012 年 3 月
6	○石橋哲也 富永 慧 中山敏文 檜崎耕輔 浦田貴子	7月播きセルトレイ苗を用いた冬どりタマネギの栽培技術(第2報)短日処理苗の定植後の生育および収量	園芸学会平成 24 年度 春季大会	2012 年 3 月
7	○檜崎耕輔 石橋哲也 富永 慧	シンクロトン光を利用したタマネギの元素組成比較による有機農産物の特性解明	平成 23 年度佐賀県試験研究機関シンクロトン放射光利用発表会	2012 年 3 月
8	○古川智博 山口正洋 中島貞彦	黒毛和種における肥育前中期の濃厚飼料増給技術の確立(第3報)種雄牛「美津栄」を用いた肥育試験	第 74 回九州農業研究発表会	2011 年 8 月
9	○山口正洋 中島貞彦 池本聡美 田代暢哉	佐賀県上場地域のハウスマカンで問題となる‘にせ黄斑病’の発生を助長する要因の解明	平成 23 年度園芸学会 九州支部研究発表会	2011 年 8 月
10	○正司和之 善 正二郎 山口正洋 中島貞彦 田代暢哉	マンゼブ水和剤およびマンゼブ・メタラキシル水和剤に展着剤を加用した場合のタマネギべと病の防除効果の変動	九州病害虫研究会	2012 年 1 月

2. 刊行物

No.	刊行物名	年月
1	平成22年度業務年報（ホームページで公開）	2012年5月

3. 論文

No.	著者	題名	掲載誌	年月
1	Tashiro Nobuya Manabe Kayo Ide Youichi	First report of whisker mold, a postharvest disease on citrus caused by <i>Penicillium ulaiense</i> (in Japan)	Journal of General Plant Pathology 78: 140-144.	2012年3月

4. 著書・解説

No.	著者	題名	掲載誌	年月
1	石橋哲也	苗を用いる冬どりタマネギの画期的な新栽培方法	農林水産技術 研究ジャーナル第35巻 第1号:16-17.	2012年1月
2	富永 慧	ローコスト・ハイリターン 冬どりタマネギで反収100万円!!	佐賀の野菜 第184号:28-32.	2012年1月
3	富永 慧	(ネギ類) 冬どりたまねぎ	野菜・花き栽培マニュアル:210-214.	2012年1月
4	檜崎耕輔	(塊根・塊茎類) バレイショ	野菜・花き栽培マニュアル:255-258.	2012年1月
5	檜崎耕輔	(塊根・塊茎類) カンショ	野菜・花き栽培マニュアル:282-285.	2012年1月
6	田代暢哉 山口正洋	ハウスマカンで問題になる『にせ黄斑病』を発生させない対策	佐賀の果樹	2011年6月
7	山口正洋	ハウスマカンの生理落果防止対策	佐賀の果樹	2011年12月

5. 講演要旨

No.	発表者	題名	記載誌	年月
1	中山敏文 富永 慧 浦田貴子 石橋哲也	イチゴ‘さがほのか’の高設栽培における 培地組成の違いが先絞り果(仮称)の発生 と果実内無機成分に及ぼす影響	園芸学会九州支部研究集録 第19号:34	2011年8月
2	石橋哲也 浦田貴子 中山敏文 浦田貴子 富永 慧	木質ペレット温風暖房機の効率的利用技 術の確立(第3報)木質ペレット投入量の違 いが排ガス温度と性状に及ぼす影響	園芸学会九州支部研究集録 第19号:40	2011年8月
3	富永 慧 中山敏文 石橋哲也 檜崎耕輔	促成イチゴ‘さがほのか’における局所温 度制御が生育と収量に及ぼす影響	園芸学研究 第10巻 別冊 2:450	2011年9月
4	石橋哲也 中山敏文 富永 慧 檜崎耕輔	促成イチゴ‘さがほのか’における局所温 度制御による生育促進と暖房費削減効果	園芸学研究 第10巻 別冊 2:451	2011年9月
5	中山敏文 富永 慧 石橋哲也 浦田貴子 檜崎耕輔	7月播きセルトレイ苗を用いた冬どりタマネ ギの栽培技術(第1報)育苗時の短日処 理による結球休眠抑制	園芸学研究 第11巻 別冊 1:140	2012年3月
6	石橋哲也 富永 慧 中山敏文 檜崎耕輔 浦田貴子	7月播きセルトレイ苗を用いた冬どりタマネ ギの栽培技術(第2報)短日処理苗の定 植後の生育および収量	園芸学研究 第11巻 別冊 1:389	2012年3月
7	山口正洋 中島貞彦 池本聡美 田代暢哉	佐賀県上場地域のハウスミカンで問題となる ‘にせ黄斑病’の発生を助長する要因解明	園芸学会九州支部研究集録 第19号:17	2011年9月
8	正司和之 善 正二郎 山口正洋 中島貞彦 田代暢哉	マンゼブ水和剤およびマンゼブ・メタラキシ ル水和剤に展着剤を加用した場合のタマネ ギべと病の防除効果の変動	九州病害虫研究会報 57:96	2012年11月
9	田代暢哉 正司和之 山口正洋	2010年に果実腐敗防止剤散布前のカンキツ 園から分離された緑かび病菌のベンゾイミダ ゾール系薬剤に対する感受性	日本植物病理学会報 第77 巻:163	2011年8月
10	田代暢哉	減農薬は根拠に基づく防除技術の構築から —EBC (Evidence-based Control) 研究が目指 すもの—	平成23年度果樹研究会合同 全体会資料:5-12	2012年2月
11	田代暢哉 井手洋一	<i>Penicillium ulaiense</i> によるカンキツひげかび 病(新称)	日本植物病理学会報 第78 巻:77	2012年3月

6. 研究成果情報

1) 佐賀県研究成果情報

No.	成果情報名	担当
1	木質ペレット暖房機の熱効率を維持した燃料供給量削減で経費も削減可能	畑作・経営
2	木質ペレット暖房機の燃料削減と温度設定により制御温度精度の向上が可能	畑作・経営
3	畑作タマネギの有機栽培において有機質肥料の種類の違いによる収量は同程度	畑作・経営
4	畑作タマネギの有機栽培における作型の異なる品種の収量性	畑作・経営
5	上場地域における JAS 有機認証野菜生産の取り組み状況	畑作・経営
6	極早生および早生品種を用いたタマネギ有機栽培の病虫害発生状況および被害実態	畜産・果樹
7	苗を用いる冬どりタマネギ栽培の画期的な新育苗方法	畑作・経営
8	新育苗法を利用した冬どりタマネギ栽培の有望品種‘シャルム’・‘ひろまる’・‘若丸’	畑作・経営
9	上場地域のハウスミカン園における‘にせ黄斑病’の発生助長要因	畜産・果樹
10	上場地域のハウスミカン園で収量 6.0ton/10a, M・S 階級 7 割以上を確保するための水戻し期の適正かん水量	畜産・果樹
11	美津栄産子雌牛における肥育前中期の濃厚飼料給与方法	畜産・果樹